

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2012年8月31日から2015年9月25日まで	
運用方針	<p>①主として日本を含む世界各国の相対的に好利回りの転換社債（CB）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②当ファンドは、UBPインベストメンツが運用する外国投資法人「Triangle II Fund - Global CB Fund」、および損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用する投資信託証券「マネーブルマザーファンド」を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。</p> <p>③原則として、「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を高位に保ちます。</p>	
主要投資対象	好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08	外国投資法人「Triangle II Fund - Global CB Fund」投資証券および「マネーブルマザーファンド」受益証券
	Triangle II Fund - Global CB Fund	日本を含む世界各国の転換社債（CB）等
	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>④株式への直接投資は行いません。</p> <p>⑤同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p>
	Triangle II Fund - Global CB Fund	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券への投資は行いません。</p> <p>④非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。</p>
	マネーブルマザーファンド	<p>①株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>②外貨建資産への投資は行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

満期償還 運用報告書（全体版）

好利回りグローバル CBファンド （限定追加型）2012-08

最終期（償還日 2015年9月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08」は、信託約款の規定に基づき、2015年9月25日をもちまして満期償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



営業第二部 03-5290-3519

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設 定 日) 2012年 8月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 550
1 期 (2013年 9月25日)	10,194	100	2.9	1.0	95.1	927
2 期 (2014年 9月25日)	10,345	300	4.4	0.9	95.4	668
(償 還 日) 2015年 9月25日	(償還価額) 10,438.07		0.9	—	—	589

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマネープールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「Triangle II Fund - Global CB Fund」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■最終期の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2014年 9月25日	円 10,345	% —	% 0.9	% 95.4
9 月 末	10,335	△0.1	0.9	95.4
10 月 末	10,360	0.1	0.9	95.6
11 月 末	10,492	1.4	0.9	95.3
12 月 末	10,441	0.9	0.6	95.0
2015年 1 月 末	10,443	0.9	0.9	95.4
2 月 末	10,487	1.4	0.9	95.7
3 月 末	10,468	1.2	0.9	95.9
4 月 末	10,492	1.4	0.8	95.8
5 月 末	10,485	1.4	0.9	95.0
6 月 末	10,451	1.0	0.9	95.0
7 月 末	10,459	1.1	0.9	95.5
8 月 末	10,449	1.0	0.9	95.9
(償 還 日) 2015年 9月25日	(償還価額) 10,438.07		0.9	—

(注1) 騰落率は期首比。

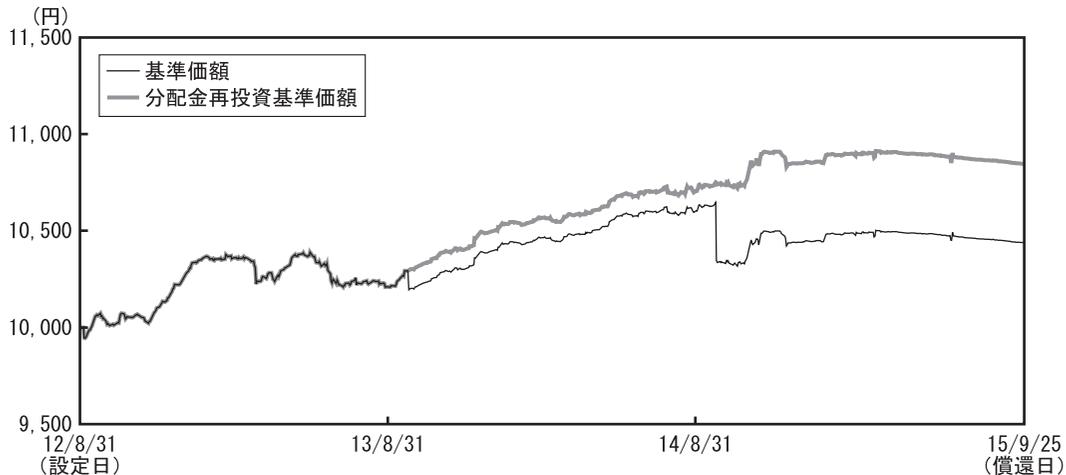
(注2) 債券組入比率はマネープールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「Triangle II Fund - Global CB Fund」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2012年8月31日（設定日）～2015年9月25日（償還日））

■基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：10,438円07銭（期中分配金合計400円）

騰落率：8.5%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・当ファンドは、「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

第1期：2012年8月31日～2013年9月25日

（好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08）

主要投資対象である「Triangle II Fund - Global CB Fund」が上昇したため、当期の基準価額は上昇しました。

（Triangle II Fund - Global CB Fund）

グローバル転換社債のインカムゲイン（利子収入）、キャピタルゲイン（価格変動益）ともにプラスに寄与しました。

第2期：2013年9月26日～2014年9月25日

（好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08）

主要投資対象である「Triangle II Fund - Global CB Fund」が上昇したため、当期の基準価額は上昇しました。

(Triangle II Fund - Global CB Fund)

グローバル転換社債のインカムゲイン（利子収入）、キャピタルゲイン（価格変動益）ともにプラスに寄与しました。

最終期：2014年9月26日～2015年9月25日**(好利回りグローバルCBファンド（限定追加型）2012-08)**

主要投資対象である「Triangle II Fund - Global CB Fund」が上昇したため、当期の基準価額は上昇しました。

(Triangle II Fund - Global CB Fund)

グローバル転換社債のインカムゲイン（利子収入）、キャピタルゲイン（価格変動益）ともにプラスに寄与しました。

■投資環境**第1期：2012年8月31日～2013年9月25日**

当期のグローバル転換社債市場は上昇しました。

2012年9月上旬に、ECB（欧州中央銀行）が条件付きで欧州周縁国国債を無制限に買い入れる計画を発表し、欧州債務不安が後退しました。また、同月中旬にはFRB（米連邦準備理事会）が量的金融緩和の第3弾を決定したこと等を背景に、期初のグローバル転換社債市場は堅調なスタートとなりました。その後も、米国のいわゆる「財政の崖」問題で政府と議会との間で合意が成立し、不安材料が解消したことに加え、米国でのマクロ経済指標の改善、事前予想よりも良かった各国主要企業の決算等を好感し続伸しました。

しかし、2013年5月以降は変動の大きな展開となりました。5月下旬に、バーナンキ米FRB議長が、景気改善の持続性が強まれば向こう数回のFOMC（米連邦公開市場委員会）で量的金融緩和の縮小を決めることもあり得ると発言し、米金融政策の先行きへの不透明感が高まりました。世界各国で株式市場や債券市場が下落する中、グローバル転換社債市場も下落しました。

7月に、バーナンキ議長が量的金融緩和の早期縮小に対して、慎重姿勢を示したことからグローバル転換社債市場は買いが優勢となりました。9月には、景気減速が懸念されていた中国において事前予想を上回る経済指標の発表があったことや、17～18日に行われたFOMCにて大方の予想に反し量的金融緩和の縮小が見送られたこと等から、更に上昇しました。

第2期：2013年9月26日～2014年9月25日

当期のグローバル転換社債市場は上昇しました。期初から2013年12月にかけては、米国の債務上限の暫定的引き上げに米議会が合意し、米国債の債務不履行が回避されたこと等を受け、買いが優勢となりました。その後、12月中旬に開催されたFOMCにおいて、超低金利政策の長期化が示唆されたこと等からグローバル株式市場が上昇する中、転換社債市場も続伸しました。年が明けた2014年1月には、アルゼンチンペソの急落を受けエマージング諸国経済への懸念が広がったことから世界主要国の株式市場は下落し、転換社債市場もやや軟調な展開となりました。その後は、米国や中国での景気回復期待や、米国での超低金利政策継続を背景とした緩和マネーの流入期待が重なり、世界各国で各種リスク資産が上昇する中、転換社債市場も続伸となりました。

7月には、ポルトガルの銀行を巡る信用不安や地政学リスクの高まりを受け下落する局面もありましたが、米国の景気回復や緩和的な金融政策継続への期待感は根強く、8月には転換社債市場は反発しました。しかし、9月に入り、ウクライナ問題に伴い欧米がロシアへの追加制裁を発表したことや、米国が過激組織「イスラム国」を標的にシリア領内で空爆を始めたこと等を受け、再び地政学リスクが高まる中、軟調に推移しました。

最終期：2014年9月26日～2015年9月16日

当期のグローバル転換社債（CB）市場は上昇しました。

期初は、欧米によるロシアへの追加制裁の発表や、地政学リスクの高まりを受け、グローバルCB市場は下落して始まりました。しかし10月中旬以降、ECB（欧州中央銀行）による追加緩和への期待が高まり、グローバル株式市場が上昇する中、グローバルCB市場も上昇に転じました。12月にかけては、原油価格の大幅下落やロシア・ルーブルの急落等から、投資家のリスク回避の動きが強まり、グローバルCB市場は一時的に下落しましたが、その後はECBによる量的緩和政策の発表等を受け、グローバルCB市場は続伸しました。2015年6月下旬以降はギリシャ債務問題への懸念が強まり、8月には中国発の世界同時株安で投資家心理が一段と冷え込む中、グローバルCB市場は大きく下落しましたが、期を通しては上昇しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、主として「Triangle II Fund - Global CB Fund」、「マネープールマザーファンド」への投資を行いました。運用期間中、主要投資対象である「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を高位に維持した後、2015年9月16日に全部売却しました。

（Triangle II Fund - Global CB Fund）

第1期：2012年8月31日～2013年9月25日

各地域への分散に留意しつつ、一貫してアジア太平洋地域を地域配分の上位に据えた運用を行いました。

3月に、IVG Finance BV（クーポン1.75%、2017年3月償還）は、親会社の業績発表を受け大きく下落しました。その後、親会社の財務面での先行き不透明感が払拭されないこと等から全売却しました。

また、上昇基調が継続していたフランスの通信会社Alcatel-Lucent（クーポン5.0%、2015年1月償還）等の転換社債等も売却しました。

一方で、利回り面で魅力的な英国のエネルギー会社Salamander Energy PLC（クーポン5.0%、2015年3月償還）等を組み入れることにより、銘柄の分散維持を図りました。

第2期：2013年9月26日～2014年9月25日

各地域への分散に留意しつつ、一貫してアジア太平洋地域を地域配分の上位に据えた運用を行いました。一方で、ポートフォリオのバランスを崩さぬよう転換社債の売却を行い、ファンドの解約に対応しました。

保有転換社債の中では、価格が大きく上昇したエールフランス（クーポン4.97%、2015年4月償還）等を売却しました。また、アルセロールミタル等の転換社債が満期償還となりました。

余剰キャッシュの一部は、イタリア、スペイン等の欧州短期国債に配分を行いました。

最終期：2014年9月26日～2015年9月16日

期初は、償還までに残存期間の短い米不動産投資信託のアナリー・キャピタル（クーポン5%、2015年5月償還）やフランスの航空会社のエールフランス（クーポン4.97%、2015年4月償還）等を新規に組み入れました。一方、期中にロシア経済への懸念が高まったことから、ロシアの鋼管製品メーカーのTMK（クーポン5.25%、2015年2月償還）等を全売却しました。

期末にかけては、ファンドの償還に合わせて既存銘柄が満期償還となる中で、現金等による安定運用を行いました。

（マネープールマザーファンド）（2012年8月31日～2015年9月16日）

安全性、流動性の高い残存期間6ヶ月未満の公社債・国庫短期証券を中心に運用を行いました。

2014年10月以降、日本銀行の金融緩和政策により、国債金利がマイナスとなった際は、残存期間が6ヶ月未満の公社債を組み入れることで、プラス金利での運用を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「Triangle II Fund - Global CB Fund」への投資比率を可能な限り高位に保ってきましたが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

分配金につきましては、基準価額の水準等を勘案し、第1期は1万口当たり100円、第2期は1万口当たり300円、合計で400円分配を行いました。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2015年9月25日をもちまして信託期間を終了し、満期償還とさせていただきますこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	最終期		項目の概要
	(2014年9月26日~2015年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	88円	0.842%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,457円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(28)	(0.270)	
(販売会社)	(56)	(0.540)	
(受託会社)	(3)	(0.032)	
(b) 売買委託手数料	7	0.070	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(7)	(0.070)	
(c) その他費用	0	0.002	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	96	0.914	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■売買及び取引の状況

○投資信託証券

(2014年9月26日から2015年9月25日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦貨建	Triangle II Fund - Global CB Fund	千口 —	千円 —	千口 58.046 (—)	千円 648,950 (—)

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

○親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2014年9月26日から2015年9月25日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 6,679	千円 6,695

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

■利害関係人との取引状況 (2014年9月26日から2015年9月25日まで)

当ファンド及びマザーファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

○投資信託証券 (邦貨建)

(2015年9月25日現在)

銘 柄	期首 (前期末)	償 還 時		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
Triangle II Fund - Global CB Fund	千口 58.045	千口 —	千円 —	% —
合計	口 数、金 額 58.045	—	—	—
	銘 柄 数 <比 率>	1銘柄<95.4%>	—<—>	—

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○親投資信託残高

(2015年9月25日現在)

	期首 (前期末)	償 還 時	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	千口 6,679	千口 —	千円 —

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2015年9月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 592,193	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	592,193	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および償還価額の状況

(2015年9月25日現在)

項 目	償 還 時
a 資産	592,193,545円
コール・ローン等	592,193,059
未収利息	486
b 負債	2,610,888
未払信託報酬	2,610,888
c 純資産総額(a - b)	589,582,657
元本	564,838,848
償還差損益金	24,743,809
d 受益権総口数	564,838,848口
1万口当たり償還価額(c / d)	10,438円07銭

(注1) 信託財産に係る期首元本額646,550,137円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額81,711,289円

(注2) 償還時における1口当たりの純資産総額 1.043807円

■損益の状況

(2014年9月26日から2015年9月25日まで)

項 目	最 終 期
a 配当等収益	4,867円
受取利息	4,867
b 有価証券売買損益	10,346,675
売買益	11,203,385
売買損	△ 856,710
c 信託報酬等	△ 5,361,421
d 当期損益金(a + b + c)	4,990,121
e 前期繰越損益金	18,638,784
f 追加信託差損益金	1,114,904
(配当等相当額)	(45)
(売買損益相当額)	(1,114,859)
g 合計(d + e + f)	24,743,809
償還差損益金(g)	24,743,809

(注1) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年8月31日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年9月25日			資産総額	592,193,545円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額		
				2,610,888円		
受益権口数	550,671,286口	564,838,848口	14,167,562口	純資産総額		
				589,582,657円		
元本額	550,671,286円	564,838,848円	14,167,562円	1万口当たり償還金		
				10,438円07銭		
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たりの分配金		
				金額	分配率	
	円	円	円	円	%	
第1期	909,567,374	927,173,899	10,194	100	1.00	
第2期	646,550,137	668,856,606	10,345	300	3.00	

■償還金のお知らせ

1万口当たりの償還金（税引前）	10,438円07銭
-----------------	------------

■お知らせ

○投資信託及び投資法人に関する法律および関連法令の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました（2014年12月1日）。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	Triangle II Fund - Global CB Fund
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
運用の基本方針	①主として、日本を含む世界各国の転換社債（CB）等に投資します。 ②原則として、相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資します。 ③外貨建資産を原則として対円での為替ヘッジを行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・有価証券の空売りは行いません。・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。・投資信託証券への投資は行いません。・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。
決算日	毎年12月31日
信託報酬	純資産総額に対して年率0.45%（管理報酬等含む）
信託財産留保額	解約時に純資産価格に対して0.5%
その他費用	ファンドの開示に関する費用（監査報酬、弁護士報酬）等
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	UBPインベストメンツ株式会社
副投資顧問会社	ユニオン・バンケール・ジェスティヨン・アンスティテュシオネル（フランス）エスエーエス

■ 包括利益計算書

(2014年1月1日から2014年12月31日まで)
円

営業収益	
受取利息	71,933,267
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る実現損益	653,872,369
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る未実現損益	(575,794,614)
為替差損	(21,629,520)
解約手数料	4,743,331
営業収益合計	133,124,833
営業費用	
投資運用報酬	9,033,092
保管報酬	1,169,435
管理報酬	8,670,933
名義書換費用	871,856
専門家報酬	369,327
監査報酬	2,917,122
その他費用	174,993
弁護士報酬	89,917
サービス費用	5,289
営業費用合計	23,301,964
営業利益	109,822,869
金融費用	
当座借越利息及び借入金利息	7,382
税引前利益	109,815,487
源泉徴収税	(973,315)
税引後利益	108,842,172

投資信託証券「Triangle II Fund - Global CB Fund」の財務諸表の一部を、委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2014年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	通貨	クーポン	償還日	純資産構成比
PULAI CAPITAL LTD	マレーシア	アメリカ・ドル	0.00%	2019/03/22	6.73%
EURONAV SA	ベルギー	アメリカ・ドル	6.50%	2015/01/31	6.20%
ATR FRANCE-KLM	フランス	ユーロ	4.97%	2015/04/01	5.28%
BENI STABILI SPA	イタリア	ユーロ	3.88%	2015/04/23	5.26%
BUONI ORDINARI DEL TES	イタリア	ユーロ	0.00%	2015/06/12	5.19%
SPAIN LETRAS DEL TESORO	スペイン	ユーロ	0.00%	2015/06/19	5.19%
ARTEMIS	フランス	ユーロ	4.25%	2015/01/01	4.34%
VILMORIN ET COMP	フランス	ユーロ	4.50%	2015/07/01	4.20%
ACER INC	台湾	アメリカ・ドル	0.00%	2017/08/10	3.31%
ANNALY CAPITAL MGMT	米国	アメリカ・ドル	5.00%	2015/05/15	2.81%

「Triangle II Fund - Global CB Fund」の運用会社であるUBPインベストメンツからのデータ提供を受けて作成しています。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2015年8月10日）

＜計算期間 2014年8月12日～2015年8月10日＞

マネープールマザーファンド第4期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設 定 日) 2011年9月30日	円 10,000		% —		% —	百万円 11
1期(2012年8月10日)	10,006		0.1		73.6	299
2期(2013年8月12日)	10,013		0.1		98.8	1,123
3期(2014年8月11日)	10,019		0.1		94.6	2,008
4期(2015年8月10日)	10,024		0.0		93.8	2,134

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

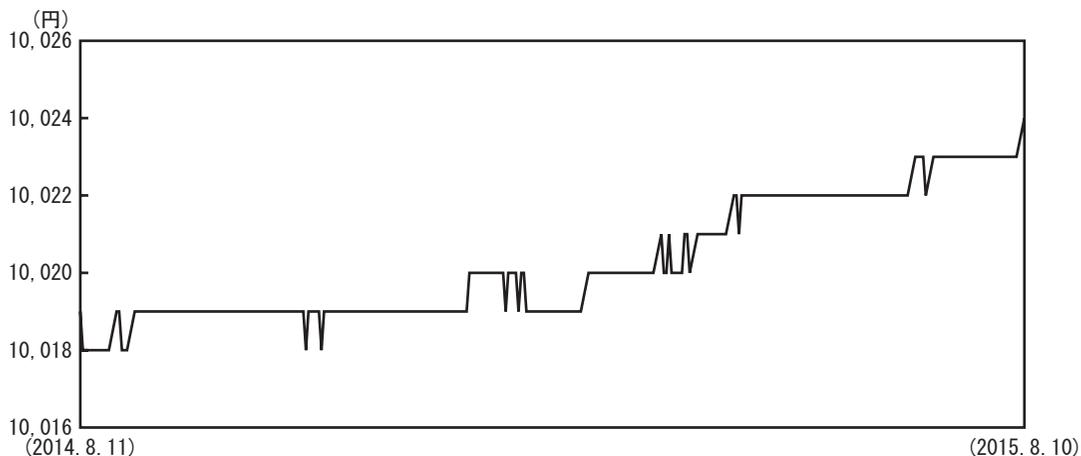
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率
		騰	落 率	
(期 首) 2014年 8月11日	円		%	%
	10,019	—		94.6
8月末	10,018	△0.0		93.7
9月末	10,019	0.0		91.3
10月末	10,019	0.0		91.8
11月末	10,019	0.0		88.4
12月末	10,019	0.0		63.9
2015年 1月末	10,019	0.0		90.7
2月末	10,020	0.0		88.8
3月末	10,020	0.0		86.7
4月末	10,022	0.0		81.8
5月末	10,022	0.0		85.6
6月末	10,023	0.0		90.8
7月末	10,023	0.0		93.8
(期 末) 2015年 8月10日	10,024	0.0		93.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

運用経過

■ 基準価額の推移



期首 : 10,019円
 期末 : 10,024円
 騰落率 : 0.0%

■ 基準価額の主な変動要因

短期金利は期中を通じて0%を挟む低位な水準で推移した環境下、公社債等の金利相当分により小幅ながらプラスとなりました。

■投資環境

短期金利は0%を挟んだ極めて低位な水準で推移しました。

超過準備に対する付利0.1%は維持されたものの、日本銀行の量的・質的緩和政策により、資金余剰感から短期金利は、0.1%を下回る水準で推移しました。2014年10月末に追加緩和が実施されると、更なる金利低下圧力から、短期金利はマイナス金利となり、0%を挟んだ極めて低位な水準で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

安全性、流動性の高い残存期間6ヶ月未満の公社債・国庫短期証券を中心に運用を行いました。

日本銀行の金融緩和政策により、国債金利がマイナスとなった際は、残存期間が6ヶ月未満の公社債を組入れることで、プラス金利での運用を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高い残存期間6ヶ月未満の公社債・国庫短期証券を中心とした運用を行う方針です。

■売買及び取引の状況

○公社債

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	国 債 証 券	2,299,952	1,699,995 (1,600,000)
	特 殊 債 券	702,910	300,813 (300,000)
	内 社 債 券	3,011,680	601,119 (1,400,000)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

○公社債

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
		千円	
540 国庫短期証券	899,998	471 国庫短期証券	899,998
496 国庫短期証券	899,991	419 国庫短期証券	599,998
521 国庫短期証券	499,962	149 オリックス	300,957
13 首都高速道路	402,168	13 首都高速道路	300,813
149 オリックス	401,452	16 東日本高速道	300,162
16 東日本高速道	400,424	496 国庫短期証券	199,998
376 東北電力	101,573		
329 九州電力	101,280		
22 全日本空輸	100,755		
39 日本電気	100,700		

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

下記はマナープールマザーファンド（2,129,643千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

(2015年8月10日現在)

区 分	当			期 末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	900,000 (900,000)	900,000 (900,000)	42.2 (42.2)	— (—)	— (—)	— (—)	42.2 (42.2)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	100,157 (100,157)	4.7 (4.7)	— (—)	— (—)	— (—)	4.7 (4.7)
普 通 社 債 券	1,000,000 (1,000,000)	1,002,019 (1,002,019)	46.9 (46.9)	— (—)	— (—)	— (—)	46.9 (46.9)
合 計	2,000,000 (2,000,000)	2,002,177 (2,002,177)	93.8 (93.8)	— (—)	— (—)	— (—)	93.8 (93.8)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) () 内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

(2015年8月10日現在)

区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国 債 証 券	540 国庫短期証券	%	千円	千円	
		0.0000	900,000	900,000	2015/09/24
種 別 小 計	1 銘柄	—	900,000	900,000	—
特 殊 債 券 (除く金融債券)	3 水資源	1.6700	100,000	100,157	2015/09/18
種 別 小 計	1 銘柄	—	100,000	100,157	—
普 通 社 債 券	22 全日本空輸	1.9700	100,000	100,074	2015/08/24
	39 日本電気	1.6800	100,000	100,098	2015/09/04
	35 野村ホールディング	0.8100	100,000	100,065	2015/09/18
	41 東日本旅客鉄道	1.5600	100,000	100,148	2015/09/18
	4 ジャツクス	1.8200	100,000	100,216	2015/09/28
	79 丸紅	0.5700	100,000	100,076	2015/10/16
	2 ジャフコ	1.0300	100,000	100,095	2015/10/16
	38 クレディセゾン	0.9000	100,000	100,154	2015/10/29
	376 東北電力	3.7000	100,000	101,021	2015/11/25
	1 興銀リース	0.3400	100,000	100,068	2015/12/14
種 別 小 計	10 銘柄	—	1,000,000	1,002,019	—
合 計	12 銘柄	—	2,000,000	2,002,177	—

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2015年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,002,177	93.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	132,493	6.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,134,671	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月10日現在)

項 目	当 期 末
a 資産	2,134,671,085円
コール・ローン等	126,917,088
公社債(評価額)	2,002,177,100
未収利息	3,651,147
前払費用	1,925,750
b 負債	—
c 純資産総額(a-b)	2,134,671,085
元本	2,129,643,308
次期繰越損益金	5,027,777
d 受益権総口数	2,129,643,308口
1万口当たり基準価額(c/d)	10,024円

(注1) 信託財産に係る期首元本額2,004,278,122円、期中追加設定元本額681,555,569円、期中一部解約元本額556,190,383円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	771,135,203円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	136,311,472円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアルコース	132,038,426円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	11,221,744円
アジアハイイールド債券ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなしコース	15,021,425円
アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)円ヘッジコース	32,211,960円
好利回りグローバルC Bファンド(限定追加型)2012-08	6,060,545円
グローバル好利回りC Bファンド2012-09(円ヘッジ)(限定追加型)	16,974,638円
日米4資産スマートバランス	999,356,064円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	5,649,414円
日米4資産スマートバランス(D C年金)	2,364,980円
アジア・ハイ・イールド債券(毎月分配型)通貨セレクト・プレミアムコース	1,297,437円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0024円

■お知らせ

○投資信託及び投資法人に関する法律および関連法令の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました(2014年12月1日)。

■損益の状況

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

項 目	当 期
a 配当等収益	11,323,343円
受取利息	11,323,343
b 有価証券売買損益	△10,257,900
売買益	286,900
売買損	△10,544,800
c 当期損益金(a+b)	1,065,443
d 前期繰越損益金	3,758,020
e 解約差損益金	△1,119,617
f 追加信託差損益金	1,323,931
g 合計(c+d+e+f)	5,027,777
次期繰越損益金(g)	5,027,777

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。